

工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」

南丹市でしかできないことがある

市民の皆さんから寄せられた

宝

が盛り
だくさん!

南丹市の名所、スポットを紹介する里の秋めぐりマップ。「食」べる、「遊」ぶ、「見」る、「触」わるをテーマに赤、黄、青、緑に色分けされています。

マップの作成は、昨年度から企画委員会を立ち上げスタート。以降、ママさんリポーター、ミドルリポーター、学生リポーターなど約50人の市民リポーターが、約100カ所を取材しました。それぞれの立場で、さまざまな視点を取り入れ、南丹市のとっておきの名所、スポット206カ

所を集約しました。その他、市民の皆さんからも投稿を募りました。

マップは、リポーターの感想がそのまま使われているなど、とても温かみが伝わってくる内容となっています。

■第1回全国えんぴつつけずり大会

11月5日(土) 南丹市国際交流会館



全国初となるえんぴつつけずり大会をNPO法人「京都匠塾」との協働事業として開催。東京など遠方からの参加者もあり、小学生の部と中学生以上の部、合わせて99人が参加。審査は、仕上りの美しさを競い合い、摩気小学校6年の山内梨恩さんが小学生の部の初代王者となりました。

■伝統工芸オークション・南丹工芸シンポジウム

11月6日(日) 南丹市国際交流会館



NPO法人「京都匠塾」と協働で開催。オークションでは、若手工芸家の皆さんが、自身の傑作を堂々と紹介されていました。売り上げの一部は東日本大震災の被災地へ寄付されました。シンポジウムでは、「30年後のものづくり」をテーマに、活発な議論が行われていました。京都匠塾代表の高橋さんは「工芸職人も、つくるだけでなく積極的に活動することが必要」と語られました。